



東京の幹線道路の裏にある6m×8.4mの小さな敷地に建つ2世帯のための共同住宅の計画である。

独立した生活を有する4人家族が狭小の敷地の限られた空間を広がりのあるものとするために、敷地条件から確保できる最大限の階高となるような基準のスラブを設定し、通常大きな面積を占有する共有階段を、垂直方向のコアという形式とせず、歩行の最小限の高さの筒で囲まれた階段とすることで、筒と基準となるスラブとの間に壁でも床でも天井でもない面によってできた空間がうまれる。

筒を構成する面は、各層の壁や床・天井とつながり、狭い空間の中をその空隙が方向を変えながら行き止りのない流動的な広がりを作り出す。

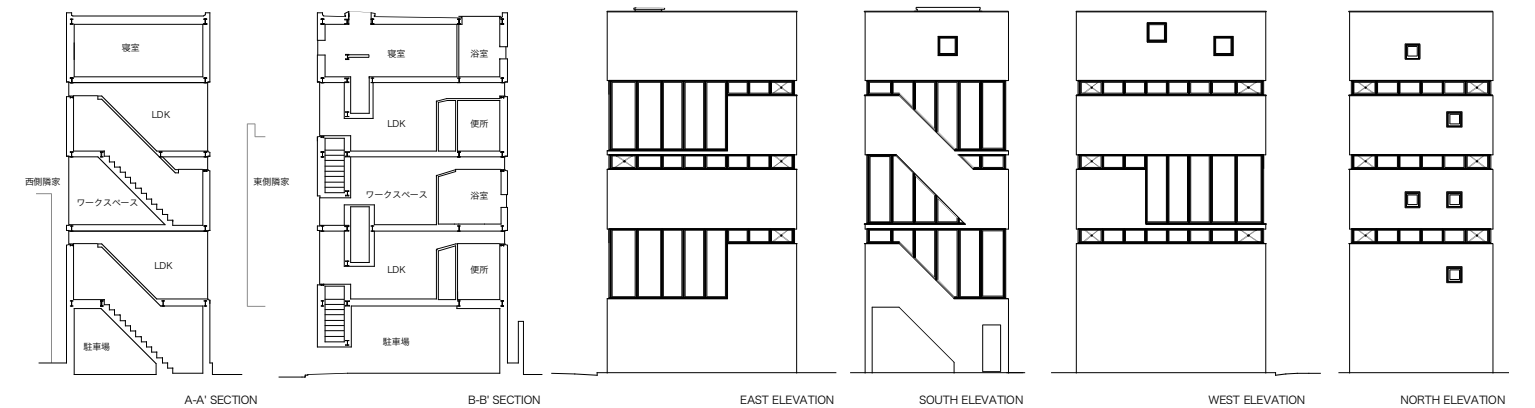
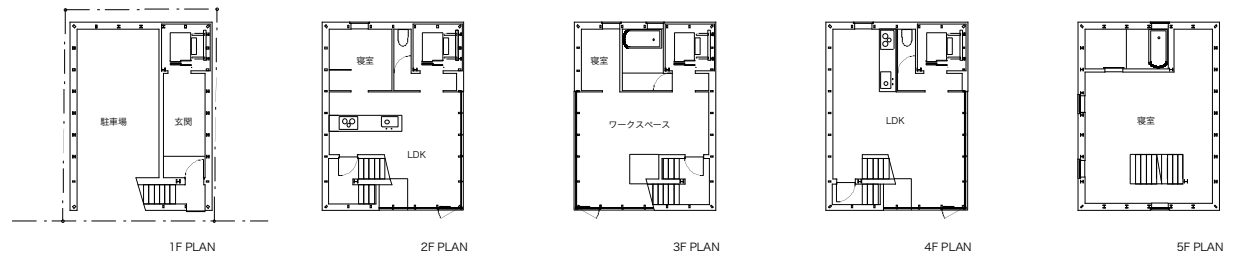
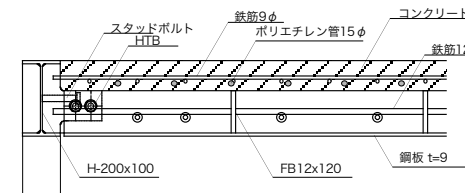
各階をつなぐ階段は建物の大きさを知る指標となるものであるが、ここでは階層の持つ一つの水平性を視覚的に分解する要素として働く。

内部ではスラブによって切られたインテリアの面となり、逆に外からはいろいろな方向に巡っていく異なる層として現れてくることで、スラブは異なる存在として建ち現れてくる。

STRUCTURE



居室空間が最大限有効に活用できる様、メインフレーム(列柱FB50×100)は外周部に配置している。床は鋼板の上にコンクリートを打設した合成構造になっており、通常の構成(H型鋼+デッキスラブ)に比べて非常に薄く造ることができ、またそれにより同じ階高でも居室の天井を高く確保している。各階隣家との関係から北側-西側北側-東側、にL型に層間をつないでいない壁面を交互に設置し層間を各層3カ所に小さなブレースを設ける事で建物全体のねじれを止めている。



SCALE 1:300

< 業平-0 > narihira 0

名称：業平
所在地：東京都墨田区業平
主要用途：集合住宅
規模、構造：地上5階建、鉄骨造
面積：敷地面積 199.30㎡
建築面積 39.86㎡
延床面積 149.96㎡
建ぺい率 79.06% (許容80%)
容積率 297.49% (許容300%)

